

## 令和3年度 第6回教育研究審議会議事概要

日 時 令和3年6月23日(水) 午後4時00分～午後6時00分

場 所 本部棟 3階 大会議室

出席者 藤田英典学長、杉本光司副学長、田中昌弥副学長(兼)キャリア支援センター長、齊藤浩稔事務局長、小林重雄理事、春日由香学長補佐、佐藤明浩学長補佐、加藤めぐみ学長補佐(兼)保健センター長、加藤敦子図書館長(兼)語学教育センター長、日向良和情報センター長(兼)共通教育センター長、新井仁入学センター長、廣田健教職支援センター長、北垣憲仁地域交流研究センター長、茂木秀昭国際交流センター長、野中潤国文学科長、三浦幸子英文学科長、佐藤裕比較文化学科長、原和久国際教育学科長、鳥原正敏学校教育学科長、春日尚雄地域社会学科長、宮下洋一総務課長、小澤初美経営企画課長、久保田昌宏学生課長

1 開 会 藤田学長より挨拶

2 議 事

(1) 特任教員(Bタイプ)の採用について(地域交流研究センター)

○委員から資料1に基づき説明。

→提案どおり承認(令和3年7月7日投開票)。

(2) 特任教員(Aタイプ)の募集(推薦公募)について(国文学科)

○委員から資料2に基づき説明。→提案どおり承認。

(3) 教員選考委員会の設置について(比較文化学科、地域社会学科)

○比較文化学科、地域社会学科の教員採用について教員選考委員会を組織する。

◇比較文化学科(エスニシティ論(専任採用))

◇比較文化学科(近代日本文化研究(専任採用))

◇地域社会学科(国際政治学(専任採用))

(4) 非常勤講師の発議の修正及び提案(学校教育学科)について

○委員から資料4に基づき説明。→提案どおり承認。

(5) 都留文科大学教員養成カリキュラム委員会規則の一部改正(案)について

○委員から資料5-1から5-3に基づき説明。→提案どおり承認。

(6) 今後の留学に関する方針について

○委員Aから資料6-1から6-5に基づき説明。

(委員B)

資料6-1(7)の条件は基準が曖昧であり、判断できないため削除した方が良いのではないか。

(委員 C)

資料 6-1 (7) について、先方の大学に問合せ、医療センター等の状況を確認し、先方の大学が問題なければ資料 6-1 (7) を満たしたということで良いのではないかと。また、渡航を認める最終責任体を決めた方が良い。

(委員 D)

運営委員会で議論し、最終的に教育研究審議会で決定する。そのため、ガイドラインの文言「・・・運営委員会や教育研究審議会等・・・」の「等」を削除して良いのでは。

(委員 A)

「等」は教授会を指していた。教授会の報告も必要かと。

(委員 D)

運営委員会で議論し、教育研究審議会で認め、教授会へ報告することとする。資料 6-1 (7) についてはそのまま残すこととする。

(委員 C)

海外で新型コロナウイルス感染症のワクチン接種をした場合の補償基準を確認した方が良い。

(委員 E)

文部科学省で留学生向けのワクチン接種事業が始まり、申請すれば東京で接種が受けられる。そのため、渡航してから接種というのは想定していない。

(委員 D)

資料 6-1 (2) については前者と後者どちらにすべきか。

(委員 F)

前者の学生及び保証人が渡航によって生じる責任を負うことを含めて個別に審議し認める場合がある、ということにしておいた方が良い。

(委員 G)

前回指摘した誤植(資料 6-2)が修正されていないため、修正すること。

→議論の内容を反映した上で承認。

○委員から資料 6-6、6-7 に基づき説明。

→提案どおり承認。

○委員から資料 6-8、6-9 に基づき説明。

→提案どおり承認。

(7) 令和 3 年度教育方法論(中等)の集中増コマと学生の履修登録について

○委員から資料 7 に基づき説明。→提案どおり承認。

(8) 令和 3 年度非常勤講師担当科目について(第 17・18 回)について

○委員から資料 8-1、8-2 に基づき説明。→提案どおり承認。

(9) 令和 4 年度開講科目について(教養、外国語、日本語教員養成課程、TISP、体育、共通専門、学校教育学科、初等教育学科、国文学科、国際教育学科、教職、諸資格)について

○委員から資料 9-1 から 9-10 に基づき説明。

→指摘事項を修正した上で承認。

- (10) 令和4年度学年暦について  
○委員から資料10に基づき説明。  
→意見がある場合は連絡。

3 その他 ○なし

4 閉 会

以 上